

仙台市小学校長会は、結成以来、小学校教育の重要性を深く認識し、その充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。また、東日本大震災から六年間、「地域とともに歩む学校」を目指し、組織の力を生かしながら、学校復興に懸命に取り組んできた。さらに、保護者や地域住民、仙台市教育委員会との緊密な連携を一層強めるとともに、校長会の英知を結集して被災校への支援、震災記録集や実践記録集の発刊、復興プロジェクトの取組、仙台版防災教育の確立等に邁進してきた。

これらの活動を牽引したのは、私たち校長一人一人の復興にかける情熱と全国の校長会からの支援である。

本年度は、「自らの使命を自覚し、展望をもち理想の実現に邁進する校長会」の実現を目指し、「新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く、日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の研究主題のもと、様々な視点から校長の学校経営について研究を深めていかなければならない。

そのためにも、私たち校長自身が職責と使命の重大さを自覚するとともに、校長会の組織を通して共助の精神のもと、力を合わせ創意と活力に満ち、学校・家庭・地域が一体となった学校経営を促進する必要がある、この取組そのものが、市民の信託に応えることにもなるのである。

私たちはここに、仙台市小学校長会として会員の総力を結集し、左記事項の実現に全力を傾注することを、第六十九回総会の総意をもって宣言する。

記

- 一、教育諸条件のさらなる整備・充実を図り、「校長の思い」の実現に向け、「地域とともに歩む学校」の推進に努める。
- 一、震災からの復興に向けて、被災児童の心のケアと人との関わりを大切にしながら「仙台自分づくり教育」及び「仙台版防災教育」の一層の推進に努める。
- 一、平成二十九年「杜の都の学校教育」の重点事項である豊かな心の育成と命と心を守り育む教育、健やかな体の育成、確かな学力の育成に努める。
- 一、教職員が子どもと向き合える体制を整え、いじめの根絶や不登校の未然防止に努める。
- 一、基礎的知識・技能の確実な習得と、これらを活用する力を育成する教育課程の編成と実施及び評価・改善に努める。
- 一、校長自らが研鑽し、学校経営の責任者として教職員の専門性を高め、資質・能力の向上に努める。
- 一、児童一人一人を大切に特別支援教育の推進に努める。
- 一、全国連合小学校長会、東北連合小学校長会、ならびに指定都市小学校長会との連携を推進し、共通の諸課題の解決及び情報の発信に努める。

平成二十九年四月二十八日

仙台市小学校長会 第六十九回 総会